

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 選手の健康と安全に配慮して、テクニカルタイムアウトは、給水のためのタイムアウトとして適用し、選手に給水をさせなければならない。
2. タイムアウトの要求はハンドシグナルとともに言葉を用いて明確に示す。
3. 選手交代は、交代選手がコートに入る準備をしてサブスティチューションゾーンに入ることにより要求したことになる。また、複数の交代を同時に要求する場合は、すべての交代選手が同時にサブスティチューションゾーンに入らなければならない。
4. 試合中、ボールを使用する練習が認められるのは、セット間においてエンド・ライン後方のフリーゾーンのみとする。
5. 監督は、試合を妨害しない限り、フリーゾーン内ならばアタックラインの延長線からウォーム・アップ・エリアまでの範囲内において、一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えても良い。ただし、ラリー中はベンチに座らなければならない。
6. 本大会は、ワン・ボール・システムで行う。したがって、速やかにサーバーへボールを送ること。
7. ワイピングについて
 - (1) 試合中は、コート内の選手が自分で用意したタオルで速やかに拭く。
 - (2) 公式練習終了後、タイムアウト及び、セット間には、選手またはチームスタッフがモップを使用してコート内とサービス・ゾーンのワイピングを行う。
8. ベンチスタッフの服装について
 - (1) ベンチスタッフはジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
 - (2) 監督がジャケットを着用し、その他のチームスタッフが統一された服装であれば許可される。
 - (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
 - (4) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。また、指導者資格を証明する証明書等を胸に下げておく。
 - (5) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと違ってよい。

9. チーム審判（主審・副審、ラインジャッジ・点示・簡易 I F）について

- (1) 役員のサポートのもと、男子・女子ともに準々決勝まで、混合の準決勝までは該当チームから1名ずつ主審・副審を行う。
- (2) 服装は、試合時の服装に準じる。チーム名の入った吊り下げ名札を着用する。
- (3) 審判に必要な用具を準備する。（トスコイン、筆記用具、腕時計）
- (4) ラインジャッジ（4名）と点示（2～4名）と簡易 I F（1～2名）は各チームで行う。

	第1試合	第2試合以降
	該当コート第2試合目のチーム	該当コート直前の試合
主審	プログラム番号が前のチーム	負けチームから1名
副審	プログラム番号が後のチーム	勝ちチームから1名
ラインジャッジ 点示・簡易IF	両チームから4名ずつ	負けチームから6～8名

【決勝・代表決定戦】

- ・ 主審・副審、ラインジャッジ・点示・I Fは大会役員で行う。

10. 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 審判・審判補助員はマスクを着用する。
- (2) 主審・副審ともに電子ホイッスルを使用する。
- (3) 簡易 I Fには筆記具を持たせる。
- (4) 監督・キャプテンのサイン用ペンは、チームで準備する。
- (5) ラインジャッジフラッグは、チーム所有のものを使用してよい。
- (6) ラインジャッジ・点示・簡易 I Fを務めた者は、試合終了後、ラインジャッジフラッグ・得点板・椅子等を消毒する。